

高冷地夏秋どりニンジンの適品種・生産安定技術

農業研究センター 高原農業研究所

研究のねらい

阿蘇を中心とする山間高冷地の夏秋期の気象は、多雨、乾燥、高温、風雨など変化が大きい。これらの気象条件は夏秋どりニンジンの栽培では、発芽不良、土壌流亡による欠株、生育不良、茎葉の損傷による品質低下などを引き起こし、生産が不安定である。

そこで、これらの問題を解決し、夏秋どりニンジンの栽培技術を確立するため、品種と作型及び被覆資材の利用について研究を行った。

研究の成果

1. 適品種選定と作型設定

- (1) 標高 500m 地帯では、「いなり 5 寸」は 3 月中旬から 7 月上旬播種、「向陽 5 寸 2 号」は 3 月下旬から 6 月中旬播種の作型が有望である。特に、「向陽 5 寸 2 号」は 4 月播種の作型で高収量となる。
- (2) 両品種ともに生育日数は 110 日程度必要であり、収穫の目安となる肩部の根径は「いなり 5 寸」で 4cm 前後、「向陽 5 寸 2 号」で 5cm 程度である。

2. 被覆資材の利用

- (1) 透明ネット(タフベル)べたがけ：播種期全般にわたり適用でき、発芽揃いまでの使用で初期の欠株防止に高い効果がある。
- (2) 透明ネット(タフベル)トンネル：6 月上旬播種の作型で効果を発揮し、乾燥を防止して発芽を安定させ初期生育を促進する。被覆期間は 60 日間を目安とするが、長く被覆するほど効果が高い。
- (3) シルバーネット(ワライラス)マルチ：6 月から 7 月播種の作型に用いる。雨による土壌流亡と土の跳ね返し防止、高温期の乾燥抑制に効果がある。

表1 有望品種の特性

品種名	地上部の生育	根形	根重 (g)	根色	芯色	す入り	青首	肉質
いなり5寸	普通	円筒形	140~200	やや濃	濃	普通	少	良
向陽5寸2号	繁茂(長大)	肩張の円筒形	180~220	濃	極濃	小	極少	極良(軟)



写真1 いなり5寸



写真2 向陽5寸2号

図1 有望品種の適播種期と利用資材

